

2013年3月期 (平成25年3月期)

決算経営報告

PART - 1. 本決算概要

PART - 2. 中期経営計画進捗状況

2013年 5月30日
三菱製紙株式会社

2013年3月期 決算実績

ならびに

2014年3月期 決算予想

2013年3月期

決算実績

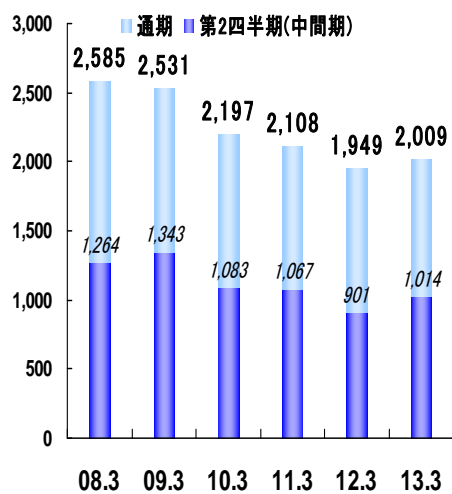
決算ハイライト <連結>



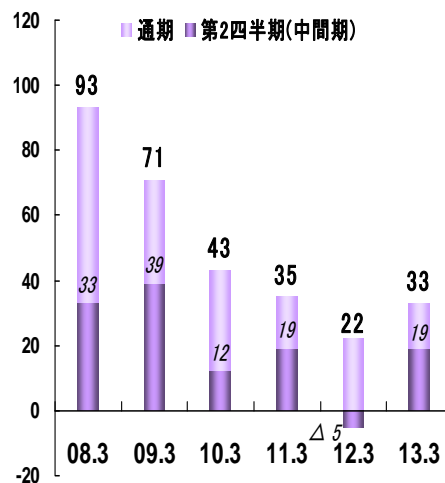
(単位: 億円)

	2012年3月期		2013年3月期		前期比	
	金額	売上高利益率(%)	金額	売上高利益率(%)	金額	増減率(%)
売上高	1,949	—	2,009	—	60	3.1
営業利益	22	1.1	33	1.7	11	54.0
経常利益	9	0.5	27	1.3	18	200.0
当期純利益	6	0.3	17	0.9	11	202.3

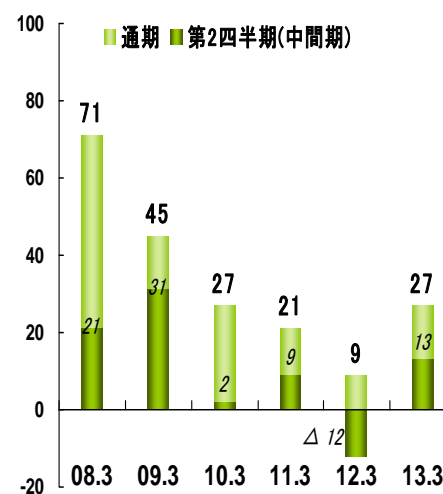
売上高



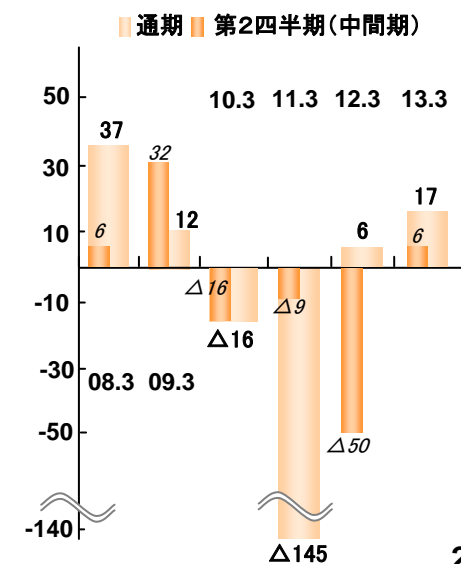
営業利益



経常利益



純利益



事業の種類別セグメント情報 <連結>



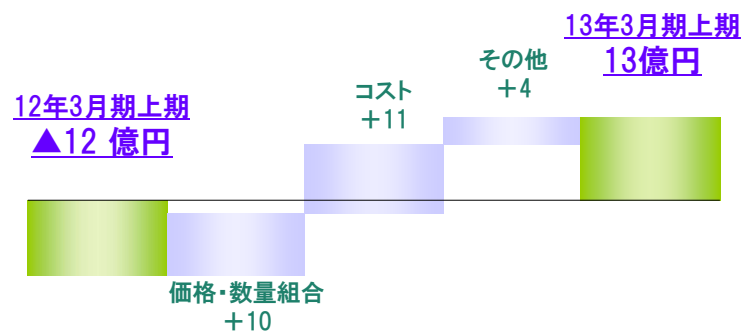
(単位:億円 %)

		2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率
売上高	紙パルプ	1,562	1,574	12	0.8
	イメージング	392	398	6	1.7
	機能材	105	142	37	35.7
	その他	193	165	▲28	▲14.5
	消去	▲303	▲270	33	—
	合計	1,949	2,009	60	3.1
営業利益	紙パルプ	13	22	9	58.8
	イメージング	▲1	5	6	—
	機能材	5	3	▲2	▲33.7
	その他	7	4	▲3	▲43.1
	消去	▲2	▲1	1	—
	合計	22	33	11	54.0

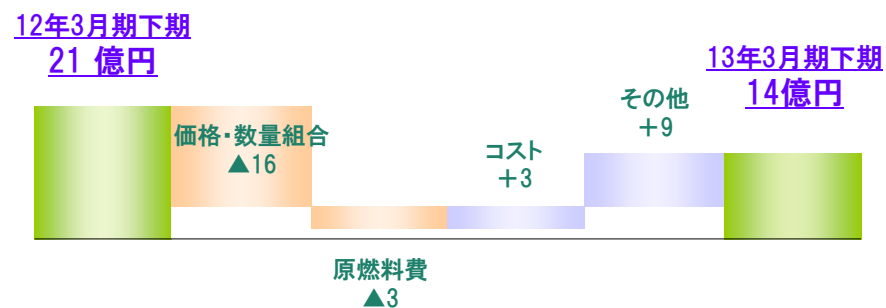
経常利益 増減要因 <上上・下下・通期>



上期比較



下期比較



通期比較



貸借対照表 <連結>



(単位: 億円 %)

	2012年3月末		2013年3月末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	金額
資産合計	2,763	100.0	2,652	100	▲111
流動資産	1,161	42.0	1,093	41.2	▲68
固定資産	1,602	58.0	1,559	58.8	▲43
有形固定資産	1,292	46.8	1,261	47.5	▲31
無形固定資産	5	0.2	5	0.2	0
投資その他の資産	305	11.0	293	11.1	▲12
負債合計	2,242	81.1	2,087	78.7	▲155
流動負債	1,439	52.1	1,169	44.1	▲270
固定負債	803	29.0	918	34.6	115
純資産	521	18.9	565	21.3	44
有利子負債	1,580	—	1,553	—	▲27

2013年3月期の期末配当について

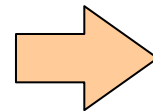


(単位: 億円)

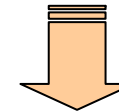
	2013.2.6公表	2013年3月期実績					差異
	通期予想値	上期	3 Q	4 Q	下期	通期計	
売上高	2,070	1,014	496	499	995	2,009	▲61
営業利益	50	19	11	3	14	33	▲17
経常利益	33	13	13	1	14	27	▲6
当期純利益	22	6	12	▲1	11	17	▲5

<主な減益要因>

- 洋紙価格下落・数量減
- 八戸工場石炭ボイラー停機事故(3月)
- 取引先破産による貸倒引当繰入増加(3月)



有利子負債削減等による財務体質の正常化を着実に進め、企業基盤の安定を図ることを優先すべきと判断



2013年3月期の配当を見送らせていただきます。

キャッシュ・フロー計算書 <連結>



(単位: 億円)

	2012年3月期	2013年3月期	前期末比
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲19	73	92
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲90	▲122	▲32
財務活動によるキャッシュ・フロー	154	▲30	▲184
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲0	1	1
現金及び現金同等物の増減額	45	▲78	▲123
現金及び現金同等物の期首残高	86	131	45
現金及び現金同等物の期末残高	131	52	▲79

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期(予想)
有利子負債	1,580億円	1,553億円	1,500億円
減価償却費	111億円	111億円	112億円
設備投資額	218億円	68億円	40億円
従業員数	4,341人	4,133人	4,043人

参考情報 <単体>



(単位: 千t・億円)

品種内訳	2012年3月期				2013年3月期			
	第2四半期累計期間		通期		第2四半期累計期間		通期	
	販売数量	販売金額	販売数量	販売金額	販売数量	販売金額	販売数量	販売金額
非塗工紙(上級紙他)	28	32	93	106	71	79	151	165
塗工紙 (コーテッド紙他)	79	125	318	412	239	286	479	555
情報用紙 (感熱紙・ノーカーボン紙他)	32	76	67	156	35	78	69	155
板紙	12	14	38	46	20	23	47	55
その他 (薄葉紙・家庭紙他)	8	53	17	103	8	44	17	93

	2012年3月期	2013年3月期
為替レート	79.30円/US \$	83.23円/US \$
原木チップ使用数量 (輸入材比率)	943千t (63%)	1,173千t (67%)
購入パルプ使用数量 (購入比率)	24千t (5%)	19千t (3%)
重油使用量	38千kl	41千kl
石炭使用量	287千t	280千t

注: 原燃料使用数量には北上ハイテクペーパー分を含みます。

2014年3月期
決算予想

通期業績予想 <連結 上上・下下・通期比較>



(単位: 億円 %)

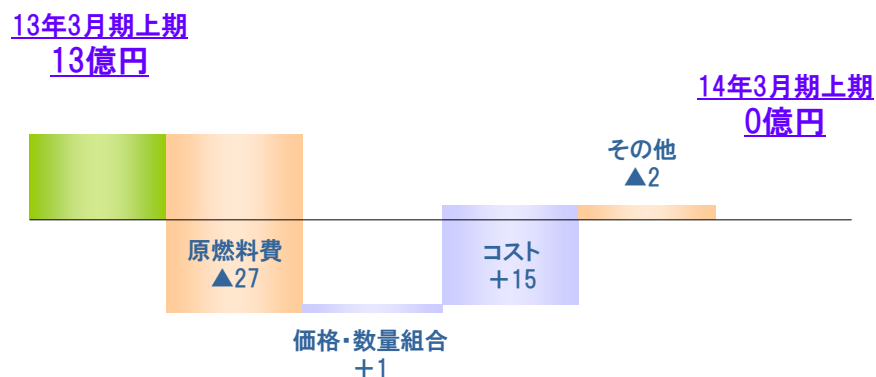
	2013年3月期			2014年3月期			前年同期比					
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期		下期		通期	
							金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
売上高	1,014	995	2,009	1,000	1,100	2,100	▲14	▲1.3	105	10.6	91	4.6
営業利益	19	14	33	5	40	45	▲14	▲73.3	26	173.6	12	35.0
経常利益	13	14	27	0	30	30	▲13	—	16	115.1	3	12.6
当期純利益	6	11	17	0	25	25	▲6	—	14	116.6	8	46.2

予想の前提: 1\$ = 95 円、1ユーロ = 125 円、ドバイ原油相場1バレル = 108\$

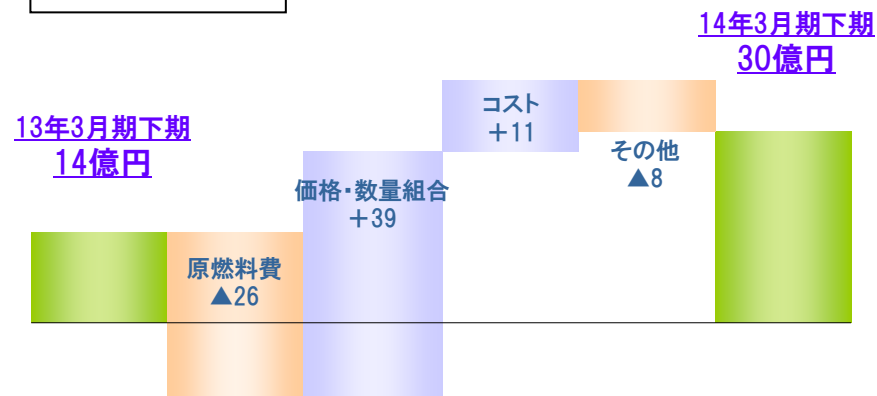
経常利益予想 増減要因 <上上・下下・通期>



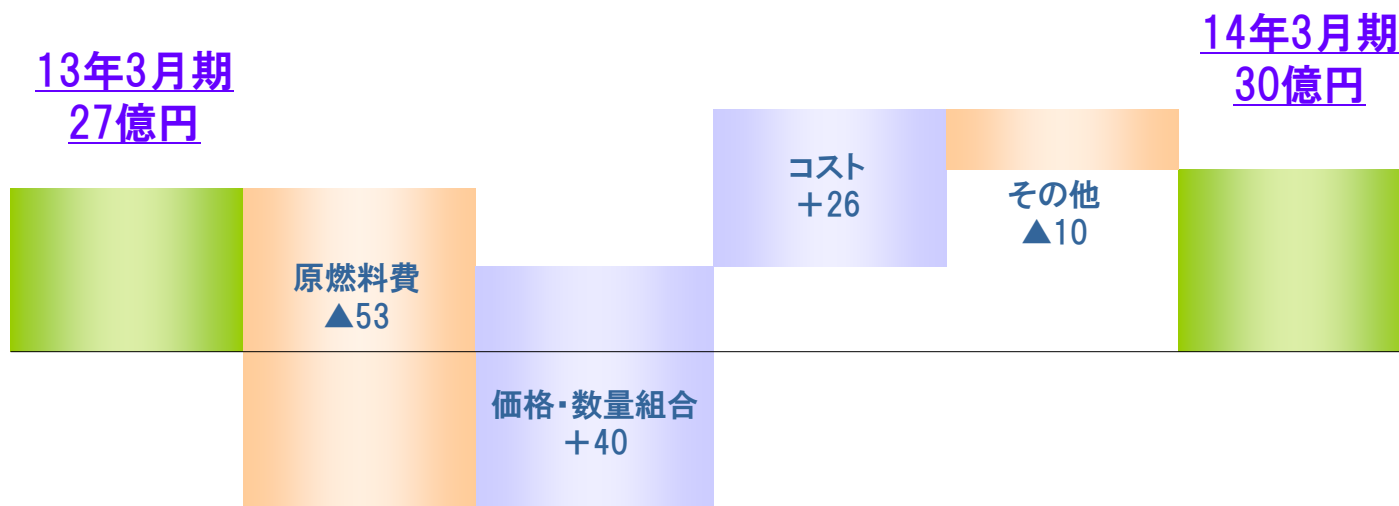
上期比較



下期比較

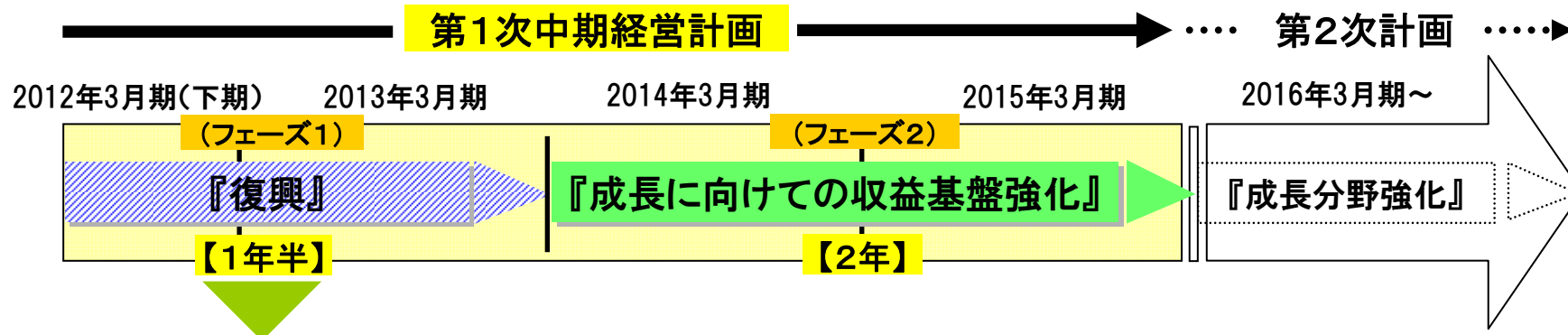


通期比較



中期経営計画進捗状況

復興 → 成長に向けての収益基盤強化へ



推進テーマ

- ①洋紙事業の早期シェア回復、仕上げ設備効率化
- ②急増した有利子負債(300億円)の早期返済実行、財務体質正常化
- ③事業別戦略の推進

<< 現状の外部環境認識 >>

世界経済 → 米国 — 財政の崖による影響懸念も、緩やかな回復堅調な景気動向

欧州 — 引き続き南欧諸国債務危機懸念も、年後半より景気底打ち見通し

アジア他 — 中国中心にBRICS・他新興国成長減速

日本経済 → アベノミクスによる為替円安・株高に伴う景気好転見通しも、实体经济への波及効果は一部の業種のみ

国内洋紙市場 → 一昨年来の輸入紙増と需要低迷により、昨夏以降印刷用紙市況が急落、今春値上げ打ち出し。一方で円安に伴う原燃料価格上昇によるコスト高懸念もあり。

基本計画値と実績



	2012年3月期	上期	下期	2013年3月期		2014年3月期	2015年3月期
	中期経営計画	実績	実績	中期経営計画		中期経営計画	中期経営計画
	実績			実績		見通し	見通し
売上高	2,000億円	1,014億円	995億円	2,300億円	▲291億円	2,350億円	2,400億円
	1,949億円			2,009億円		2,100億円	
営業利益	30億円	19億円	14億円	75億円	▲42億円	80億円	100億円
	22億円			33億円		45億円	
経常利益	10億円	13億円	14億円	45億円	▲18億円	50億円	70億円
	9億円			27億円		30億円	
有利子負債 残高	1,700億円	1,635億円		1,700億円	147億円削減	1,600億円	1,500億円
	1,580億円			1,553億円		1,500億円	
D/E レシオ(*)	3.7倍	3.4倍		3.4倍		3.0倍	2.6倍
	3.2倍			2.9倍		2.7倍	

(※) D/Eレシオ ... 有利子負債 ÷ 自己資本

~2013.3 総括

震災からの“復興”は、概ね計画前倒しで達成したものの、想定を超える外部環境の変化（洋紙市況の下落、中国等の経済成長鈍化、日中関係悪化等）により、売上・利益とも大きく未達となった。

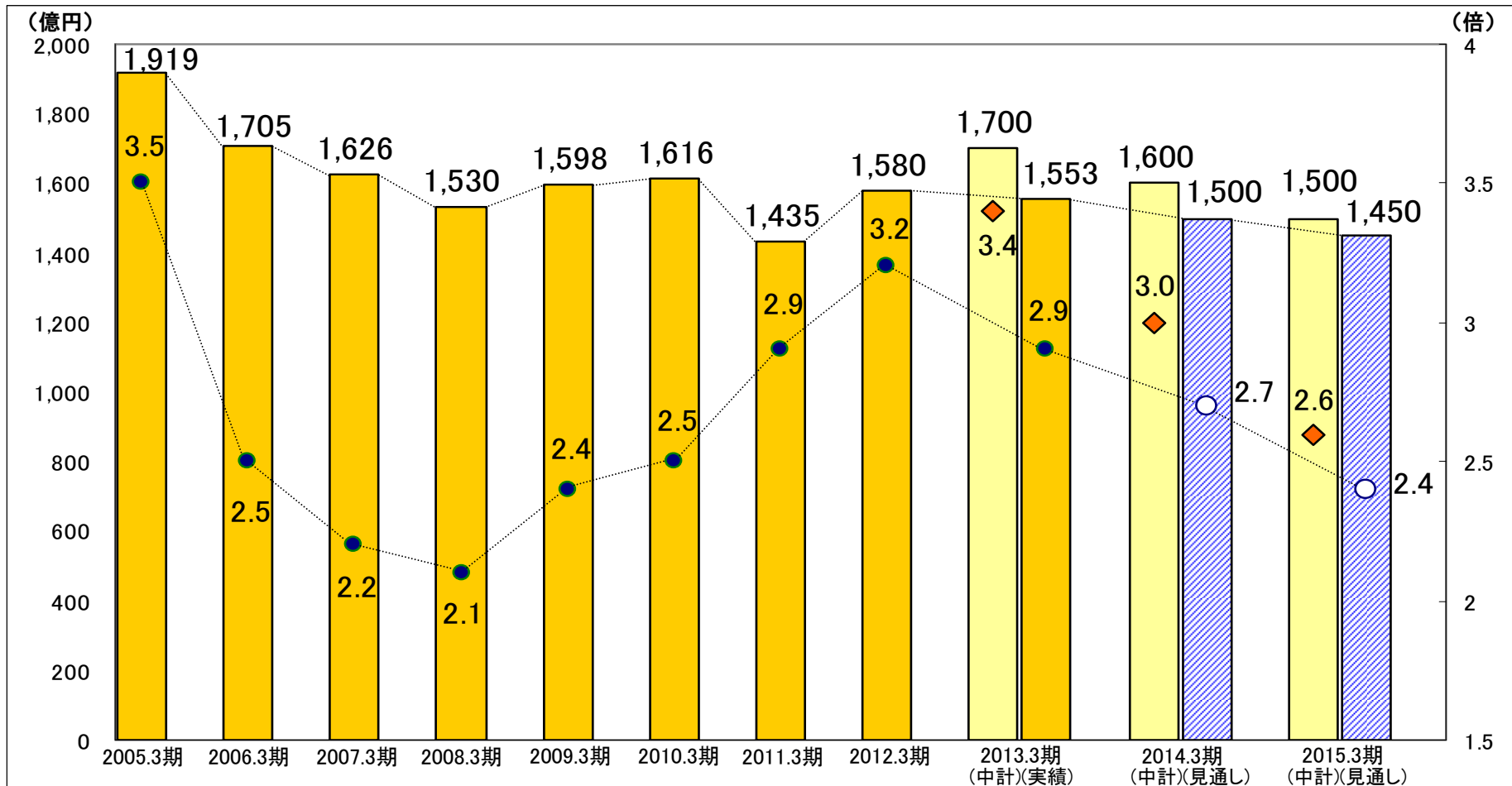
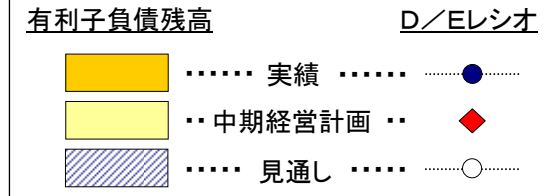
印刷用紙値上げ等、市況動向を見極めた上で見直しを検討
(2014.3期 2Q決算時)

(参考) 有利子負債残高・D/Eレシオ推移



中期経営計画目標(2015年3月期末)

有利子負債残高 1,500億円 ⇒ 1,450億円
 D/Eレシオ 2.6倍 ⇒ 2.4倍



①洋紙事業の早期シェア回復、仕上げ設備効率化

- ・八戸工場前倒し復旧も、輸入紙増大・需要低迷等に伴う印刷用紙価格下落により採算悪化
- ・仕上効率化投資 → PPC仕上設備[2013年1月稼働] / 大判カッター[2013年6月稼働予定]

②急増した有利子負債の早期返済実行、財務体質正常化

a) 収益力正常化

- ・徹底した固定加工費の削減
 - ・各工場/関連会社の業務効率化等コストダウンの実施
 - ・本社移転及び関連会社集約(7月)
 - ・要員削減 2011.3末より2年間で 420名の減少

b) キャッシュ確保

- ・復興資金調達は2012年3月期で契約完了
- ・2013年3月、日本政策投資銀行による環境格付最高ランク取得→優遇金利による調達

③事業別戦略の推進

《洋紙事業》

【3. 5カ年戦略テーマ】 ⇒ 需要成熟化市場での収益拡大

○2013年3月期 注力戦略の実績

- ・八戸工場仕上設備効率化投資の実施(PPC・印刷用紙の平判生産の効率化、品質向上)
 - ⇒ PPC仕上設備設置(2013.1月稼働)、大判カッター設置(2013.6月稼働予定)
- ・物流強化(直送体制の強化・最適最少在庫の維持)
 - ⇒ 代理店における直送管理徹底による直送体制強化(直送率10%向上)
 - ⇒ 販売に応じた生産を昨夏以降実施(12月末からは八戸3号機を休止)
- ・余剰電力の供給協力
 - ⇒ 効率的生産による余剰電力の供給協力を実施

《ドイツ事業》

【3. 5カ年戦略テーマ】 ⇒ ユーロ安をテコとした輸出の促進

○2013年3月期 注力戦略の実績

- ⇒ ヨーロッパ域内での販売は好調に推移(ユーロ安による輸入減等)
- ⇒ ユーロ圏外向けで感熱紙特殊品を中心に輸出拡販を強化

《イメージング事業》

【3. 5カ年戦略テーマ】 ⇒ 円高環境における収益体質の定着化

○2013年3月期 注力戦略と実績

- ・海外市場開拓強化（新興国での販売チャンネルの立ち上げ）
⇒印画紙はインド、中東・アフリカ、中南米他で販売大幅増。インクジェット用紙他も新興国で販売チャンネル整備。
- ・富士フイルムとのアライアンス強化
⇒原紙取引の拡大、及び新規取り組みも開始し、提携効果は確実に増大

《機能材事業》

【3. 5カ年戦略テーマ】 ⇒ 成長加速・資源の優先投入

○2013年3月期 注力戦略と実績

- ・不織布新規銘柄の安定生産・拡販
⇒水処理関連製品、電池セパレーター関連製品の新抄紙機への移管終了。グローバルに拡販展開。
- ・自動車用キャビンフィルターの積極展開
⇒大手自動車メーカーへの供給開始。グローバルに拡販展開。

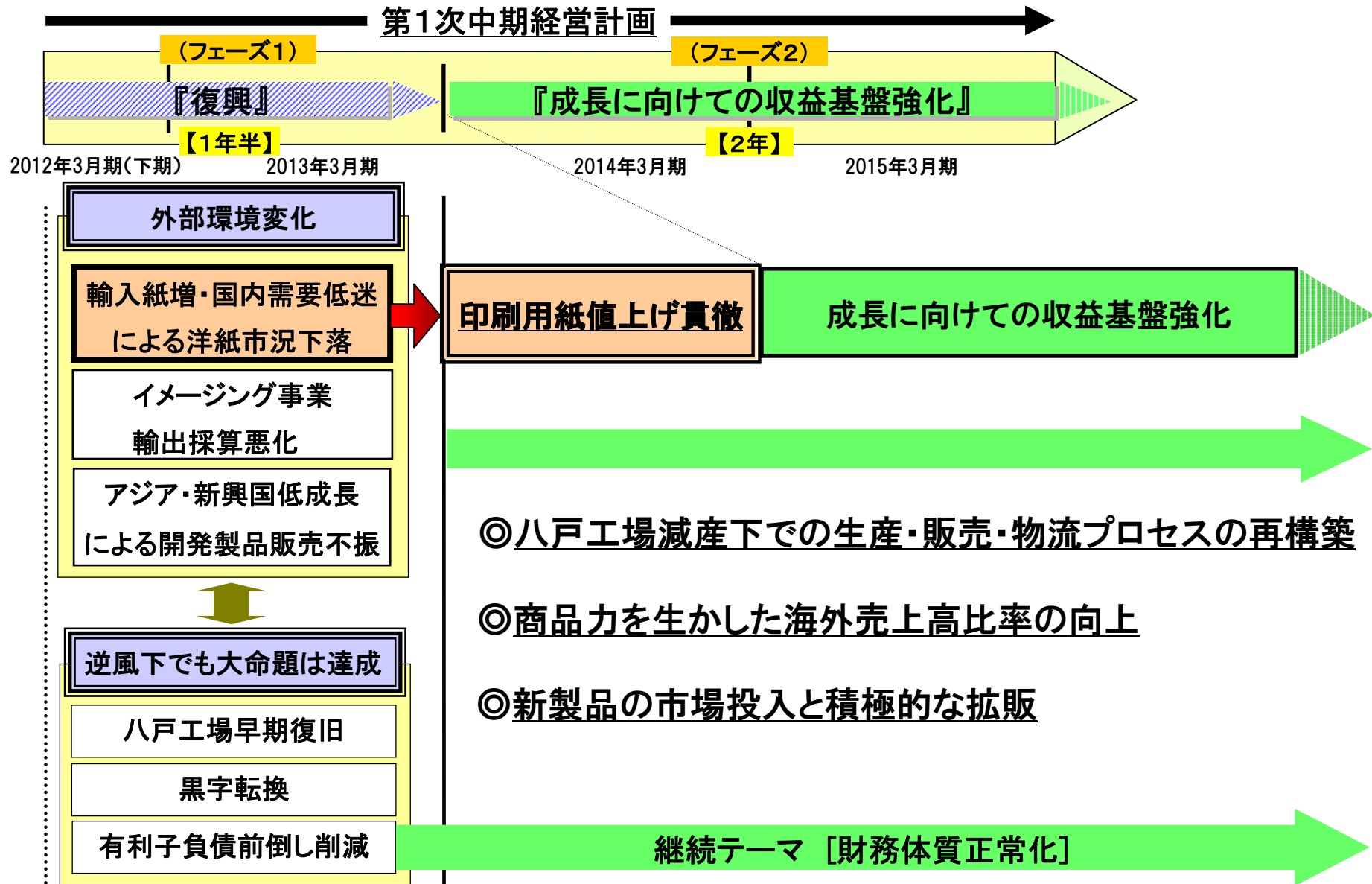
《KJ特殊紙》

【3. 5カ年戦略テーマ】 ⇒ シナジー創出・海外展開

○2013年3月期 注力戦略と実績

- ・KJ/MPM相互チャンネルの効率運用(販路・生産相互融通の検討)
⇒海外商圏におけるMPMグループでの相互協力開始

“成長に向けての収益基盤強化” テーマ



—洋紙事業— 注力戦略 2014年3月期

<印刷用紙価格の復元>

○在庫削減、需要に見合った生産の継続

<輸出の拡大>

○産業用インクジェット紙・感熱紙の輸出拡大

<八戸工場減産下でのバリューチェーンの再構築>

○有利銘柄への転換(ノンコモディティ化の推進)

・当社の強みを生かした商品の拡販(FSC品、食品用途向白板紙、書籍用紙、高級カタログ用紙)

○サプライチェーン体制の更なる強化(ジャスト・イン・タイムの生産・販売)

<工場コストダウンと効率化の徹底>

○物流費の削減(直送率の向上、倉庫の合理化)

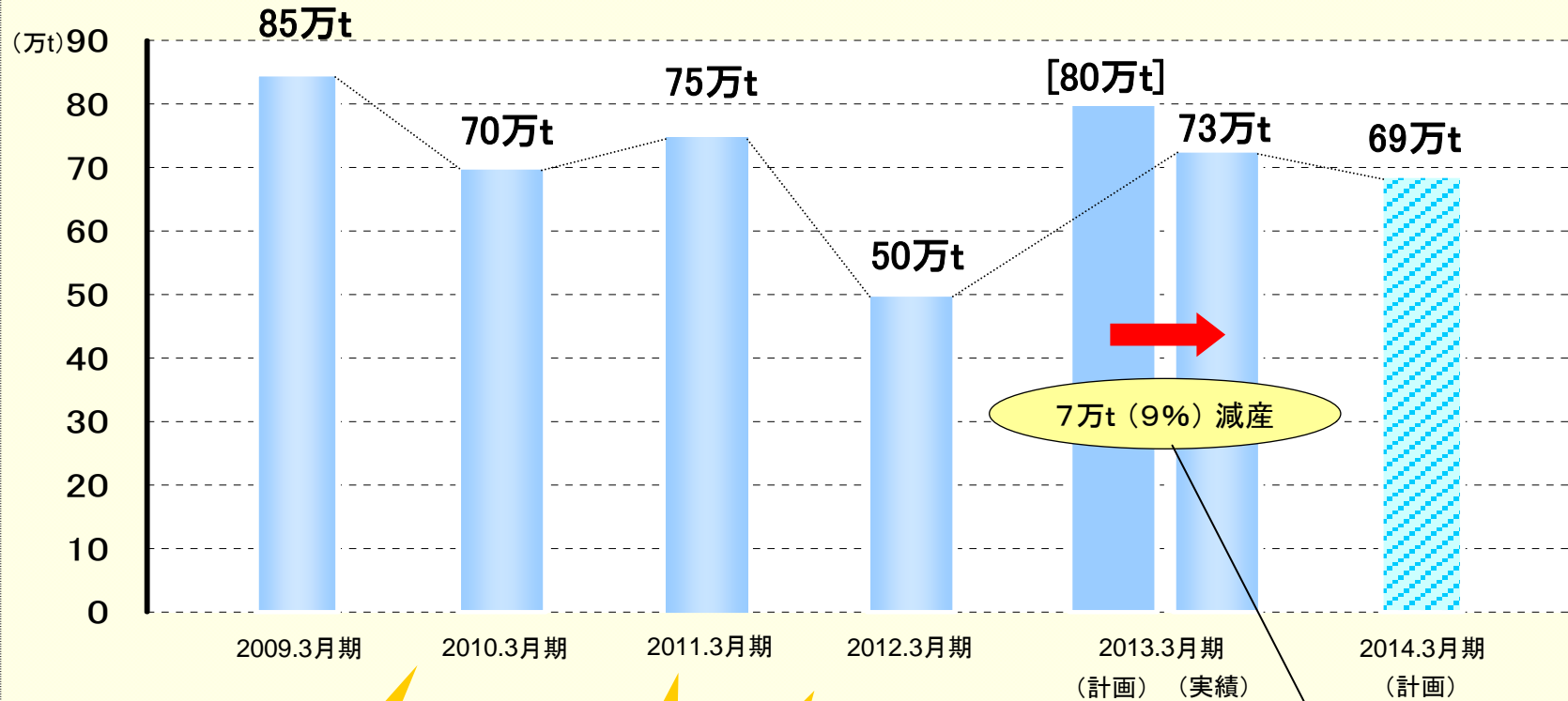
○省エネルギーの推進

○PPC仕上設備・大判カッター起業の効果発現

<ドイツ事業の競争力強化・世界戦略拠点としての活用>

(参考) 八戸工場生産量推移

八戸工場生産量推移



リーマンショック後の
市況悪化

東日本大震災の影響
による生産減

(上期)	1万 t 減	<u>3%減</u>
(下期)	6万 t 減	<u>15%減</u>

－イメージング事業－ 注力戦略 2014年3月期

<円安を追い風にした収益体制の確立>

○海外販売の強化と収益確保

商品力を生かした欧米市場での拡販と今後も成長が期待できる新興国の開拓による収益確保

○富士フイルムとのアライアンス強化

提携関係をより強固なものとして、イメージング各分野での取組みを拡大

○新製品の市場投入と新分野への進出

⇒新製品取組みの強化

⇒イメージング技術を用いた新分野への進出

—機能材事業— 注力戦略 2014年3月期

<新規製品の拡販及び海外売上伸長>

- キャビンフィルター海外生産・販売体制の確立
- 水処理関係の製品種類拡大とグローバル展開
- 新規二次電池セパレータの製品展開
- 除染事業の立ち上げ

<既存製品の収益基盤強化>

- KJ特殊紙の収益基盤の更なる強化
- ガラス系不織布、新規建築材料の製品化促進
- PM2.5対策等の機能性フィルターの展開

本資料における予想数値や業績見通しに関する記述は、現時点における将来の経済環境予測や入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の実際の決算・業績数値とは異なる可能性があります。